



Olanda Base

Team Olanda Base

2024

Team Olanda Base 概要資料

<もくじ>

- オランダ拠点のこれまでの実績
- “Olanda Base”(チームオランダベース)とは？
- チームビジョン
- メンバー一覧
- これまでのチームの活動
- 今後の予定
- 運営資金と課題
- スポンサーのお願い



“Olanda Base”とは？

日本人選手が、ためらわずに世界にチャレンジできる環境を ー。

自転車選手の活動拠点

ー オランダ (Sittard) にあるアスリート向け宿泊施設を拠点とし、現地で選手サポートを行う

サポート内容

ー レースのアテンドなど競技面でのサポートをはじめ、空港送迎など

成り立ち・・・

代表梶は7年前初めてベルギーに渡航。

初出場したレース会場にいたアジア人選手は自分たった一人。

“これでは世界にどんどん取り残されて行ってしまう...”


そんな危機感を感じると同時に、もっと日本人が本場ヨーロッパで

レース経験を積める機会を増やしたいという思いからOlanda Baseは生まれました。

23-24シーズン受け入れ選手

- 太田翔** …… ロードレース(ベルギー、オランダ)サポート、計12レース
- 古谷寛世** …… ロードレースサポート、ワーキングホリデービザ取得サポート
- 石川七海** …… シクロクロスサポート、女子U17日本選手権優勝
- 遠藤紘介** …… マウンテンバイク、シクロクロスサポート、
Team Olanda Base所属
- 岡山優太** …… マウンテンバイク、ロードレース、シクロクロスサポート、
Team Olanda Base所属
- 田島綾人** …… シクロクロス短期遠征、空港送迎
- 小田恵利花** …… シクロクロス短期遠征、空港送迎
- 渡部春雅** …… シクロクロス短期遠征、シクロクロス世界選手権後、
短期滞在
- 竹内遼** …… マウンテンバイクサポート、スペイン遠征同行
- 川口うらら** …… マウンテンバイクサポート、スペイン遠征同行、
パリオリンピックMTB日本代表

“Team Olanda Base”とは？



2023年9月より始動している
オランダ拠点のオフロード自転車チーム（Cyclocross, MTB）

2024年9月からは
世界基準のUCI（世界自転車競技連盟）登録チームとなりオランダを拠点として
周辺各国への遠征を行います。

オランダ拠点の実績

【Cyclocross】

2023 Season

Total 3Riders 4ヶ月

2024 Season

Total 7Riders 8か月

【MTB】

2023 Season

Total 4Riders 7ヶ月

【ROAD】

2023 Season

Total 20Riders 7ヶ月



2023年10月

これを機にチーム(Team Olanda Base)を立ち上げた。

その際に現地スポーツ施設(自転車チーム)と協議し UCIチームのノウハウを受け継ぐ。

オランダベース代表(梶)は、選手としてチームを引っ張りながらも、チーム経営にも回ります。

正直、選手のサポートは収益は良くないです。

仕事量は少ないが拘束時間は長い。

これを通してどういう世界を作るか？仕事、お金を生むか？

海外で活動する意義



- ・世界のトップ選手の走りから学ぶことができる
- ・競技以外の面でも多様な選択肢を持つことができる
- ・グローバルな環境に慣れることができる

など

【Vision】

世界で活躍するスター選手を
日本から生み出す

【Mission】

日本人選手の競技レベル向上に
つながる機会を創出する

- ・本場ヨーロッパでのレース出場
- ・海外の若手選手と共に練習、レース出場

日本と世界との差を埋めていくためにも
本場ヨーロッパを拠点に活動するチームを目指しています

なぜ日本と世界でレベル差ができるのか？



- ***ヨーロッパ (BEL,NED,GBR,FRA,ITA,etc)
- ***ヨーロッパ以外の強豪国(USA,AUS,CAN,etc)
- ***日本(JAPAN)

人材面

- ・選手の知識の無さ
- ・失敗を恐れる考え方 (チャレンジ出来る選手が少ない)
- ・育成システムが構築されていない

環境面

- ・言語の違い(コミュニケーション能力の差)
- ・開催されるレース数の違い(経験の差)
- ・競技知識がある人が少ないため、世界に向けてレベルアップするためのノウハウを知らない(コーチなど)
- ・資金不足

世界はどんどん進化していく中で
日本のこの現状を変えていこうと動いている組織はなかなか無い ...
“世界との差は変わらないまま”

選手



Tetsuki Kaji
1999.



Yuta Okayama
2000.



Kosuke Endo
2005.



Remon Delnije
2000.



Meadow Willems
2006

現在初年度の選手は
日本人とオランダ人で構成予定

メンバーの戦歴



2020 UCI CX World cup
U23 完走
2024 Asia Para Triathlon
Championship
3位

Tetsuki Kaji

1999.

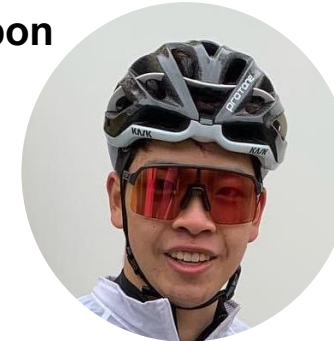


2023 UCI C3 Coupe du Japon
Shimonoseki International
XCO MEN ELITE 5位

2023 UCI C1 Japan
Mountain Bike Cup XCO
MEN U23 3位

Yuta Okayama

2000.



2022 Japan National
Championships XCE
MEN Elite 2位

2022 Asia championships
XCO MEN JUNIOR 7位

Kosuke Endo

2005.



2023 Dutch national championship 5位
2023 UCI Loenhout(Belgium) 26位 完走

*同レースは
全日本チャンピオンの織田選手で 45位(-2Laps)

Remon Delnije

2000.



2023 Dutch national championship
12位 Junior
Cyclocross Zonhoven 14位
(ワールドカップ併催レース)

※今年U23 一年目のためジュニアではUCIレースは少ない

Meadow Willems

2006

メンバー

スタッフ・協力パートナー



Akira Higuchi
日本エリア担当



Yuka Fushitani
スポーツ栄養士



Kansei Furuya
運転・サポート全般



Erick Willems
メカニック



Claude Colpaert
ピットクルー代表

その他現地のバイクパークや
宿泊施設などとも
連携を行っていきます

2023

チーム始動

選手: 2名

Kansei Furuya, Yuta Okayama

出場レース数: 約 10レース

サプライヤー

- ・Vittoria
- ・NAQI
- ・FFWD

スポンサー

- ・Watersley Sports & Talentpark (宿泊、車)



今後の予定

2024

7月 UCI登録申請完了

9月 シーズンイン — ポイント獲得を目指して様々な国のレースに出場予定 —

9/7 Internationaler GGEW Grand Prix Bensheim (ドイツ🇩🇪)

9/12 Kleeberg Mechelen (オランダ🇳🇱)

10/12 Be-Mine Cross - Beringen (ベルギー🇧🇪)

10/17 Kermiscross - Ardoonie (ベルギー🇧🇪)

11/17 Flandriencross - Hamme (ベルギー🇧🇪)

12/15 Japanese National Championships (日本🇯🇵)

その他、ほぼ全てのUCIレースに出場予定(シーズンを通して約30レース)

2月 シーズン終了

運営資金

項目	内訳	費用(€)
交通費	近場遠征費 ベルギー、オランダ（約30レース）	12,000€
備品費	キャンピングカー(レンタル)、チームカー(リース)、 発電機、高圧洗浄機、コンプレッサー工具	5,300€
機材費	チームウェア ※現在スポンサー獲得中	3,800€
人件費	ピットクルー、キャンピングカー・機材車運転手	2,000€
その他登録費用など		1,200€
		24,300€

※現地通貨はユーロな為変動あり

※見積もり詳細別資料あり

※¹1ユーロ=170円で計算の場合

※¹日本円換算 413,1000円

現在の課題

圧倒的に資金が不足している

現在見込んでいる収入

選手のチーム加入費 12,500€ (¥212,5000-) : 2500€ (¥42,5000-) × 6人 (1シーズン1人当たり)

このままでは新たなタレント発掘どころか選手の走る機会も失い、いつまで経っても強い選手が生まれず宣伝効果が得られず世界との差も更に広がる。

滞在先のWatersleyではアメリカナショナルチームが寮を一棟借りしており、夏はロード選手、冬はシクロクロス選手の拠点として国単位で支出を行なっている。

カナダチームも毎年、UCIレースを転戦しており育成に力を入れているように見受けられる

スポンサーなど、収入の機会を増やす必要あり・・・

※1ユーロ=170円で計算の場合

チームの継続方法

オランダ拠点

オランダ拠点を
使いたい個人の選手

サポート(知識、経験)

支払い

Team Olanda Base

チームの選手

バイトとして働く

Work

滞在方法 (サポート実績あり)
| VISAなし < 3か月/6ヶ月
|ワーキングホリデー 1年
| 個人事業主 Visa 2年~

その他特殊職Visa
| Students Visa 学生期間

Team Olanda Base が貢献できること

認知度の向上

- シーズンを通して会場で約30万人、
ネット視聴ではベルギー人だけでも約1500万人の目に留まる。
※世界全体では1億9500万人もの観客が視聴する。
- チーム、選手のSNSを通してアピール
- 選手交換プログラムから現地との交流を生み出す(オランダと日本の架け橋へ)
- 日本のレースで注目の的に(2戦参戦で約5000人の目に留まる)

世界に羽ばたく若者を応援するブランドイメージ

- 世界にチャレンジする若者を応援する姿勢から、将来サービスを利用したり
就職したりする可能性がある若者世代へプラスのイメージをもってもらうことができる

スポンサー価格項目一覧

項目	内容	費用
メインスポンサー (ゴールド)	<ul style="list-style-type: none">・ジャージへの企業ロゴ掲載(大)・チームカーへの企業ロゴ掲載(大)・チームのポストカードでの企業ロゴ掲載・Instagramでの紹介	100万円
サブスポンサー (シルバー)	<ul style="list-style-type: none">・ジャージへの企業ロゴ掲載(中)・チームカーへの企業ロゴ掲載(中)	50万円
サブスポンサー (ブロンズ)	<ul style="list-style-type: none">・ジャージへの企業ロゴ掲載(小)・チームカーへの企業ロゴ掲載(小)	30万円



Olanda Base

Olanda Base
2024